

所 綿花精製

當地は棉花の産出多き故に、精製場(核と綿とを分つ)八箇所、何れも露國製の機器四臺づゝを据え、水力を籍りて運轉し、一臺一日五千斤を精製すと。又多少養蠶業行はれ居れりと聞く。

蹟 名勝と舊

此地は車師前王の地、唐の樂安城にして、名勝舊蹟頗る多く、現に獨逸文學士其他二名、古碑建築物の探討及古物の發掘に従ひ、滯留既に三年に及ぶと、共に多少の支那語を解せり。其東南約八里に在る一大破城は即ち樂安城趾なり。又漢城の東南五百米突の處なる一古塔は、之れをスクンターと呼びて、土民はスクー王の建設に係ると云ふ、或は車師前王の經營に成りしものならん。

特に此地は、回部王の祖先たる土耳其の宣教師阿都喇汗アブドラハンの駐鐸布教せし靈地として、今尙ほ南山麓に有名なる回々教會堂あり、回教徒は該教會堂を以て新疆第一の靈場とし、遠近來拜する者甚た多し。

此地當年懸法星 天山南北仰神靈

只今唯見荒邱畔 白布纏頭口誦經

沿革

吐魯番は漢の車師前王の地たり。後漢の安帝永寧元年(百二十年)車師、匈奴と謀じ、